

少額訴訟債権執行申立書

広島簡易裁判所 裁判所書記官 殿

平成 年 月 日

申立人 _____ 印

電話 () -

FAX () -

当事者 }
請求債権 } 別紙目録のとおり
差押債権 }

債権者は、債務者に対し、別紙請求債権目録記載の少額訴訟に係る債務名義の正本に表示された請求債権を有しているが、債務者がその支払いをしないので、債務者が第三債務者に対して有する別紙差押債権目録記載の債権の差押処分を求める。

陳述催告の申立て（民事執行法第167条の14，同法第147条1項）

【添付書類】

少額訴訟に係る債務名義の正本 通
同 送達証明書 通
(は該当するものにレ印を付けてください。)
資格証明書 通
住民票，戸籍附票 通
代理人許可申立書 通
委任状 通
----- 通

受 付 印			
(少ル) 第 号			
貼用印紙	円	取扱者	
添付郵券	円	認 印	

当事者目録

債権者	<p>〔住所〕〒 -</p> <p>.....</p> <p>〔氏名等〕</p> <p>.....</p> <p>〔債務名義上の住所, 氏名等〕</p> <p>.....</p> <p>〔代理人〕</p> <p>住所:</p> <p>氏名:</p> <p>〔送達場所〕〒 -</p>
債務者	<p>〔住所〕〒 -</p> <p>.....</p> <p>〔氏名等〕</p> <p>.....</p> <p>〔債務名義上の住所, 氏名等〕</p> <p>.....</p>
第三債務者	<p>〔住所〕〒 -</p> <p>.....</p> <p>〔氏名等〕</p> <p>.....</p> <p>〔送達場所〕〒 -</p> <p>.....</p>

(債務者1名用)

請求債権目録

広島簡易裁判所平成 年(少)第 号事件の
少額訴訟における確定判決
仮執行宣言付少額訴訟判決
執行力のある少額訴訟における和解調書
執行力のある少額訴訟における和解に代わる決定
執行力のある少額訴訟における(訴訟費用 和解費用)
確定処分

正本に表示された

下記金員及び執行費用

1 元 金 金 円

主文第 項の金員 (内金 残金)
和解条項第 項の金員 (内金 残金)

2 利 息 金 円

主文第 項の未払利息金 円 (内金 残金)
和解条項第 項の未払利息金 円 (内金 残金)

3 遅延損害金 金 円

主文第 項の確定遅延損害金 円 (内金 残金)
和解条項第 項の確定遅延損害金 円 (内金 残金)

上記1に対する,平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
の割合による遅延損害金 円

上記1の内金 円に対する,平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
の割合による遅延損害金 円

4 執行費用金 円

(内訳) 本申立手数料 金 円
本申立書作成及び提出費用 金 1,000 円
差押処分正本送達費用等 金 円
資格証明書交付手数料 金 円
送達証明書申請手数料 金 円
金 円
金 円
金 円

以上合計 金 円

弁済期 平成 年 月 日

最終弁済期 平成 年 月 日

なお,債務者は, 平成 年 月 日の経過により期限の利益を喪失した。

なお,債務者は, 平成 年 月 日の経過により
その額が金 円に達したので,平成 年 月 日の経過により
期限の利益を喪失した。

注: は該当するものにレ印を付けてください。

(債務者複数用)

請求債権目録

(債務者 分)

広島簡易裁判所平成 年(少)第 号事件の

- 少額訴訟における確定判決
- 仮執行宣言付少額訴訟判決
- 執行力のある少額訴訟における和解調書
- 執行力のある少額訴訟における和解に代わる決定
- 執行力のある少額訴訟における(訴訟費用 和解費用)
- 確定処分

正本に表示された

下記金員及び執行費用

1 元 金 金 円

主文第 項の金員 (内金 残金)

和解条項第 項の金員 (内金 残金)

2 利 息 金 円

主文第 項の未払利息金 円 (内金 残金)

和解条項第 項の未払利息金 円 (内金 残金)

3 遅延損害金 金 円

主文第 項の確定遅延損害金 円 (内金 残金)

和解条項第 項の確定遅延損害金 円 (内金 残金)

上記1に対する,平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
の割合による遅延損害金 円

上記1の内金 円に対する,平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
の割合による遅延損害金 円

4 執行費用金 円

(内訳) 本申立手数料 金 円

本申立書作成及び提出費用 金 1,000 円

差押処分正本送達費用等 金 円

資格証明書交付手数料 金 円

送達証明書申請手数料 金 円

----- 金 円

----- 金 円

----- 金 円

以上合計 金 円

弁済期 平成 年 月 日

最終弁済期 平成 年 月 日

なお,債務者は, 平成 年 月 日の経過により期限の利益を喪失した。

なお,債務者は, 平成 年 月 日の経過により
その額が金 円に達したので,平成 年 月 日の経過により
期限の利益を喪失した。

注: は該当するものにレ印を付けてください。